

リースハウス等の提供により初期投資を軽減し円滑な就農を促進

JJAみやざき都城地区本部トレーニングセンター（宮崎県）

【トレーニングファームの概要】

- 所 在 地：宮崎県都城市
- 研修品目：施設きゅうり、施設いちご、その他JAが認めた品目
- 研修人数：2名/年（令和8年度から3名）
- 研修要件：先進農家で1年間研修を修了した者（研修については55歳未満で都城地区管内で就農、JA部会加入が条件）
- 研修内容：リースハウスでの模擬経営研修
- 研修場所：JAみやざき都城地区本部が所有するハウス
- 取組の背景：当JAでは、経営感覚に優れた地域農業の担い手を育成するため、新たに農業を始めようとする強い意欲のある方を対象に、先進農家での研修受入事業（新規就農者確保・育成・支援事業：1年間）を実施。その後、就農の際の負担軽減等のため、本格的に就農する前にJAがリースするハウスで模擬経営研修（1年間、最長2年間）を行うトレーニングセンターを平成31年に設置した。
- ホームページ：<https://miyazaki.mz-ja.or.jp/pages/290/>



リースハウス

新規就農までの流れ

- 研修生募集
 - ・研修受入事業（先進農家研修）に係る研修生の募集を、JA、市町のHPや広報紙等において実施（1月～5月末）
- 研修・育成
 - ・1年目は先進農家で栽培技術等の研修を実施
 - ・2年目はトレーニングファームで模擬経営研修を実施
- 就農支援
 - ・農業機械・設備の導入に係る補助事業の斡旋
 - ・就農地確保に向けての情報収集に取り組み、マッチングをサポート
- 就農・定着
 - ・市、県、生産団体によるサポートを継続

サポート体制

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 生産団体
(部会、先進農家等) | ・研修の受入、実施（1年目）
・空きハウスの情報提供 |
| 都城市
三股町 | ・研修生の募集
・研修生への就農支援 |
| 県（北諸県農業改良普及センター） | ・研修生への就農支援
・座学研修等 |
| JA（トレーニングセンター含む） | ・施設及び農機具等の貸与
・研修生のサポート |



農機具格納庫（共有）



資材倉庫（共有）

トレーニングファームでの研修

研修期間（2年間：8月～7月）

1年目

2年目

■先進農家研修

- ・先進農家で3ヶ月体験研修後、問題なければ本研修に移行しトータル1年間の技術研修を実施。
- ・座学研修
- ・研修終了者は、トレーニングセンターでの模擬経営研修の受講が可能。

■トレーニングセンター模擬経営研修

- ・当センターでは、JAがリースするハウスや農機具等必要な設備を整備。
 - ・初期投資を抑え、指導員や部会員による指導を受けながら模擬経営を行う。
 - ・販売代金は本人の収益となるため収入を得ながら就農地を探したり準備することが可能。
- ※トレーニングセンターは最長2年間入居可能

成果・実績

- ・これまで5名（うち1名は2年間）利用しており、いずれも管内平均以上の収量をあげる優良農家となっている。
- ・現在1名が入居中で来年度は現在先進農家で研修中の2名が利用予定。来年度研修申込者も現在3名いる（1棟増設予定）。
- ・過去に当トレーニングセンターに入居した新規就農者から話を聞き、当研修事業に申し込むなど口コミによる就農希望者が一定程度存在。



研修の様子